

1. はじめに

PDFNET は、フォルダツリーを備えた PDF ビューア兼編集ツールです。

ページの結合・入れ替え・回転・削除・画像化・注釈・スタンプなど、日常業務で必要となる PDF 操作を一つの画面で直感的かつ効率的に行えます。

本書では、PDFNET の基本操作からライセンス版拡張機能までを説明します。

2. 特徴

- 画像ファイル(bmp,jpg,png,tif)を PDF へ変換
- 文字情報を削除(画像化)、文字情報の埋め込みに対応
- PDF の結合、ページの追加、削除、入れ替え、回転に対応
- 自分の印影を登録しておけば PDF 文書に直接押印が可能

3. 動作環境

- 対応 OS:Windows 10 / Windows 11
- .NET 8 ランタイム:不要(self-contained)
- CPU:x64
- メモリ:4GB 以上推奨
- 必要ファイル
 - PDF.NET.exe
 - pdfium.dll
 - worker フォルダ(内部処理用)

4. 起動方法

- インストーラを起動しデスクトップまたはプログラムメニューに作成された PDFNET アイコンから起動してください
- インストールにあたり管理者権限は不要です

5. 画面構成

PDFNET は「フォルダツリー」「操作パネル」「PDF 構成」「プレビュー」の 4つの領域で構成されています。

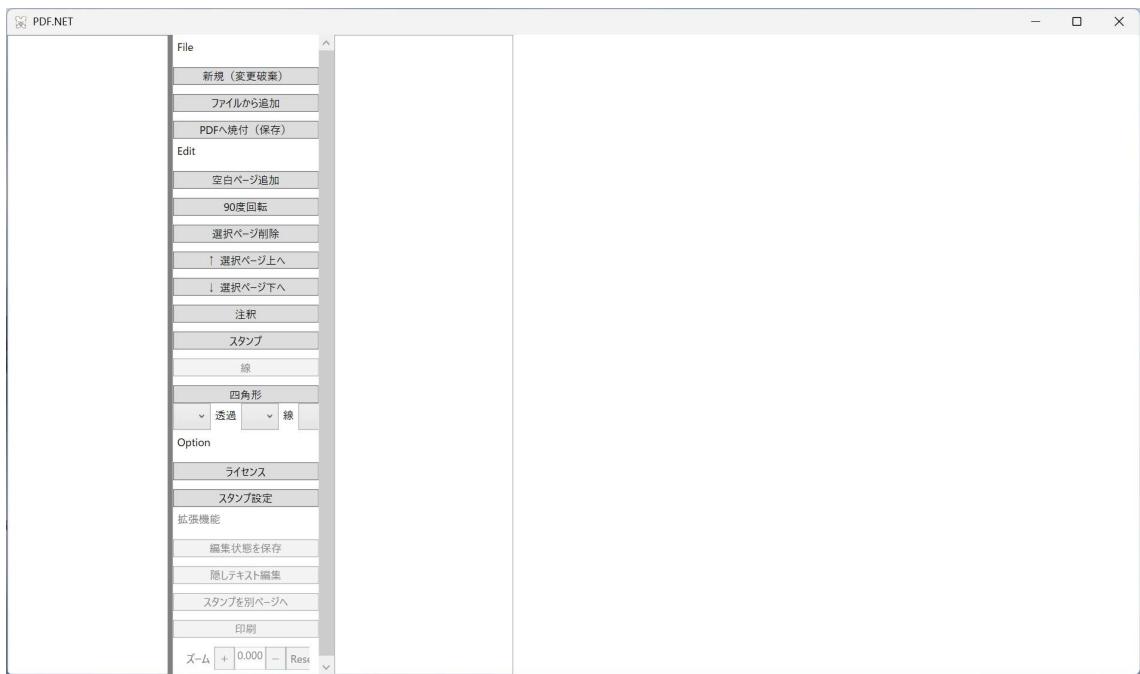


図 1:PDFNET の画面全体

○ フォルダツリー(左側)

- 選択したフォルダ内の PDF をツリー形式で表示
- サブフォルダも自動的に読み込み
- PDF を選択すると、中央にページ構成、右側にプレビューを表示

○ 操作パネル(中央左)

主な機能は以下の通りです。

- =ファイル=
- 新規(変更破棄)
- ファイルから追加
- 保存(別名で保存／上書き保存)
- 全文字情報を削除(画像化)
- =ページ編集=
- 空白ページ追加
- 90 度回転
- 選択ページ削除
- 選択ページ上へ
- 選択ページ下へ
- 注釈
- スタンプ
- 四角形

- =設定=
 - ライセンス
 - スタンプ設定
 - =拡張機能=
 - 編集状態を保存
 - 隠しテキスト編集
 - スタンプを別ページへ
 - 印刷(プレビュー／通常使うプリンタ)
 - PDF 構成(中央右)
 - ページ選択、入れ替え、削除機能を提供
 - PDF プレビュー(右側)
 - ページ編集機能を提供
- タッチパネル操作(ピンチイン／アウトのズーム調整、スワイプによるスクロール)に対応

6. 基本操作

- ファイルを開く
 - デスクトップの PDFNET アイコン、ドロップターゲット、またはアプリ画面にファイルをドラッグ & ドロップ

※ドロップターゲットはフリー版はデスクトップ下部中央に配置され、ライセンス版では移動可能です
 - PDF はフォルダツリーから選択可能

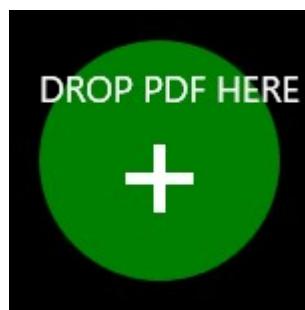


図 2:ドロップターゲット

- 取り扱い可能なファイル形式
 - PDF
 - PDFNET(ライセンス版で有効になる編集途中のファイル)
 - bmp png jpg tif の各画像ファイル(PDF へ変換して開く)
- ファイルを開くとそのファイルの所属しているフォルダツリー、PDF のページ構成とプレビューが表示されます。

- ページ構成の編集

- 90 度回転
 - 1. 回転したいページを選択
 - 2. 「90 度回転」ボタンを押すたびに右回りに回転
- ページの削除
 - 1. 削除したいページを選択
 - 2. 「選択ページ削除」または Delete キーで削除
- ページの入れ替え
 - 「選択ページ上へ」「選択ページ下へ」で移動(複数のページを一度に選択できます)
- PDF の結合
 - PDF を開いた状態で「ファイルから追加」
 - または PDF を画面にドロップすると結合されます
- PDF 出力
 - 編集内容を PDF に焼き付けて出力、ページ編集内容不可能になります
 - 「全文字情報を削除(画像化)」の有無を選択可能

- アノテーション編集

- 注釈
 - フォント、サイズ、色を指定して文字を書き込み
 - PDF へ焼き付けるまでは移動・再編集・削除が可能



図 3:注釈編集画面

- 四角形
枠線、塗りつぶし、色、透過度を指定して描画
焼き付け前は移動・削除が可能
- スタンプ
スタンプ設定で登録した画像を押印
焼き付け前は移動・削除が可能
- 編集モードはプレビュー画面を右クリックすると解除できます
- アノテーションを右クリックすると、前面、背面への重なり順を指定できます

7. 設定

○ ライセンス認証

License Key を入力し「Regist」を押すとライセンス認証が完了

認証後、拡張機能が有効化

「Clear」でライセンスを解除（認証した PC でのみ可能）

解除後のライセンスキーは別 PC で再利用できます



図 4:ライセンス認証画面

- スタンプ設定

bmp / png / jpg / gif をウィンドウにドロップして登録

出力サイズは標準のサイズから選択する他、pt(0.4mm) 単位で指定可能

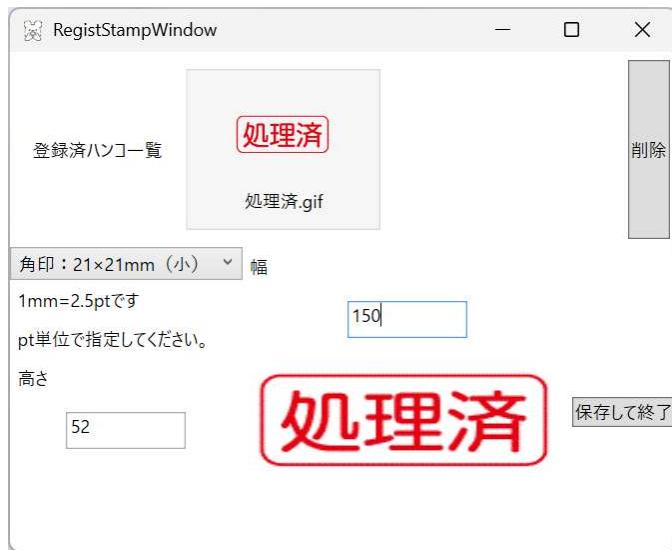


図 5:スタンプ設定画面

8. ライセンス版拡張機能

以下ライセンス版のみ有効になる機能です

- 編集状態を保存

拡張子 .PDFNET のファイルとして編集状態を保存できる

PDFNET ファイルをダブルクリックでアプリが起動できる、ただしアプリフォルダを移動した場合はライセンスの再認証が必要

- 隠しテキスト編集

検索用テキストを埋め込む機能

画像のみの PDF の検索性を高めたい場合に有効

- スタンプを別ページへ

編集中のアノテーションを別ページへ一括移動

ベースの PDF を更新した時、注釈の差し替えがスムーズ

固定的な注釈を施すテンプレートをあらかじめ用意して作業を効率化

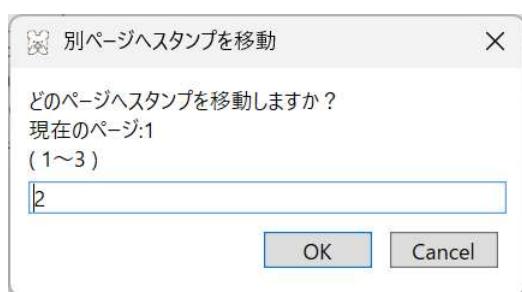


図 6:スタンプを別ページへ

- 印刷

通常使うプリンタで全ページ印刷

または印刷プレビューからページ・プリンタ・部数を指定

オープンソースコンポーネントについて

PDFNET の内部処理(PDF の画像化・ページ操作・埋め込み処理など)は、オープンソースの PDFWorker (AGPL) によって実行されています。

PDFWorker は PDFNET とは プロセス分離されており、PDFNET に組み込まれたりリンクされたりすることはありません。

そのため、PDFWorker の AGPL ライセンスは PDFNET には適用されません。

PDFWorker のソースコードは GitHub で公開されています。

内部処理の透明性を確保するため、どなたでも参照できます。

GitHub:

<https://github.com/ourssoft/PDFWorker>

ライセンス・著作権

PDFNET は OURSSOFT によって開発・配布されています。

更新履歴

- **Ver 1.0.0** 初版リリース